

講義科目 : 英語講読	単位数 : 2
担当 : 村井 美代子	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

- ・ 科学・技術系の現代問題に焦点をあてたテキストを読む。各ユニットは読み切り形式で、500語前後にまとめられている。薬害や環境問題、ユニバーサル・デザインなど、科学技術に関心がある人以外にも広く身近に感じられる内容のテキストを読み、英文内容を速く的確に把握できる読解力と語彙力を養う。
- ・ 各ユニットにはリーディング課題だけでなく、テキスト内容の理解度を問う問題、語彙に関する問題、テキスト内容に関するリスニング問題なども用意されている。様々な課題への取組みを通して、これまでの英語学習の基礎の上に、実践的な読み取りの力を身につけてほしい。

授業計画

- ・ 1つの章を2回（1回目は読解中心。2回目は内容理解や語彙問題）の授業で読了する予定。ただし、受講生の学習の進捗度などによって、授業進行の速度は随時調整する。

第1回	オリエンテーション	第16回	前期試験返却・Unit8
2回	Unit1 タイレノール事件	17回	Unit8 化学災害
3回	Unit1 タイレノール事件	18回	Unit9 Made in Japan
4回	Unit2 スマホ速度抑制問題	19回	Unit9 Made in Japan
5回	Unit2 スマホ速度抑制問題	20回	Unit10 犬と健康維持
6回	Unit3 STEAM教育	21回	Unit10 犬と健康維持
7回	Unit3 STEAM教育	22回	Unit11 サイエンス・コミュニケーション
8回	Unit4 技術開発者	23回	Unit11 サイエンス・コミュニケーション
9回	Unit4 技術開発者	24回	Unit12 海洋酸性化問題
10回	Unit5 レアアース	25回	Unit12 海洋酸性化問題
11回	Unit5 レアアース	26回	Unit13 ユニバーサル・デザイン
12回	Unit6 自動運転	27回	Unit13 ユニバーサル・デザイン
13回	Unit6 自動運転	28回	Unit14 AIとロボット
14回	Unit7 未来への投資	29回	Unit14 AIとロボット
15回	Unit7 未来への投資	30回	Unit15 電車デザイン

教材・テキスト・参考文献等

『リーディング・クエスチョン 科学技術の多様な側面を考える』（三修社）

成績評価方法

- ・ 毎回出席をとる。
- ・ 前期と後期の定期試験期間に試験を行う。全授業回数の3分の2以上の出席がない場合、評価の対象外とする。
- ・ 成績は前後期の定期試験を中心に、出席状況や課題の提出状況、学習態度などから総合的に判断する。評価基準の目安は、試験：平常点＝7：3